

町内会会計就任にあたって

1組 岩瀬 博明

本年度より町内会会計担当に就任することになりました岩瀬です。

今年7月に60才定年退職予定であり、田中野田へ転入して23年、少しでも恩返しができればと思います。経験豊富な大ベテランの中尾さんからの交代で大きなプレッシャーを感じていますが、役員メンバーを始め町内の皆様からのご理解とご協力のもと、精一杯務めさせていただきますので、宜しくお願い致します。

最後に ` コロナ ` に負けず、この状況を皆で乗り切りましょう。

子ども会 育成会会長就任のご挨拶

4組 檜原 雄大

町内の皆様、保護者の皆様、平素は子ども会の活動にご理解、ご支援頂きありがとうございます。また、子供達の安全を地域で見守っていただき重ねてお礼申し上げます。

今年度、子ども会育成会会長を務めることになりました檜原です。

微力ではございますが、子供達の楽しい思い出が作れるよう頑張ってみますのでよろしくお願い致します。

新型コロナウイルスの影響で事業活動が思うように行えない状況です。その影響は大きく、子ども会育成会の今後の活動予定も大幅に変更になることが考えられ、かつ実施するに至っては、慎重に判断していきたいと思えます。収束後には、これまで以上に子供達のたくさんの笑顔が見られる活動にしていきたいと思えます。

年々子ども会の会員数は減少しております。保護者の皆様、ぜひ子供と一緒に子ども会の活動に参加してみませんか。年度途中でも入会可能です。

最後となりましたが、地域の皆様、保護者の皆様のますますのご支援とご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

雑記帳

「水無月(みなづき)」の水田風景



◆新緑に包まれた5月が終わり、6月になった。梅雨時で雨が多いのにも関わらず、6月を「水無月(みなづき)」と呼ぶ。どうして「水が無い」と表すのか不思議に感じられる。水の無かった田んぼに水を注ぎ入れる時期であることから、「水無月」や「水月(みなづき・すいげつ)」「水張月(みずはりづき)」と呼ぶようになったと言われる。

◆この時期の雨は稲が実を結ぶために重要なものであるため、豊作を願う人々の思いがこの呼び名に表れている、とも言われる。元々は水田地帯であった我が町内には、もはやその面影はなくなったが、田植えの終わった風景を見ると様々な思いがよぎる。

◆一本一本苗を植え付ける家族総出の田植えは重労働だった。腰を伸ばす暇を惜しんでの長時間作業から、腰の曲がった高齢者が珍しくなかったほどである。お互いが競い合いながらも助け合う共同作業の側面もあり、それが家族、親族間のみならず地域のコミュニティーの団結力を強めることに繋がったといえる。生活様式を始め、大きく様変わりした町内の風景ではあるが、地域コミュニティーの重要性においてはいささかも変わることはない。

◆一方、水面を吹き抜けるそよ風に早苗が揺れ、ツバメが飛び交う様や、水田がまるで魔法の鏡のように月を映し出す美しい風景を見ると心を動かされる。瑞穂の国の原風景と言えるのかもしれない。

◆梅雨が過ぎれば本格的な夏が始まるところから、酷暑にたえて涼しい風を待つという意味の「風待月(かぜまちづき)」、「常夏月(とこなつづき)」、「炎陽(えんよう)」などと、いう別名もあるようだ。

いずれにしても、これから訪れる厳しい暑さを元気に乗り越えたいものだ。

(独り言)